

# 竹生島

川口 晃平  
土田 英貴

村瀬 矢野 昌平  
村瀬 慧 原岡 一之  
大倉伶士郎 金春惣右衛門  
熊本俊太郎

間山本 則重

後見 梅若長左衛門  
角当 行雄  
地謡 井上須美子  
内藤 鷹尾 雄紀 野崎 美歩  
松山 隆之 小田切康陽 維教

狂言

# 柿山伏

山本泰太郎

山本凜太郎

仕舞

# 鉄玉忠敦

# 輪鬘度盛

高橋 栄子  
井上貴美子  
富田 雅子  
伶以野陽子  
地謡 角当 直隆  
鷹尾 維教  
梅若長左衛門  
鷹尾 章弘

《休憩十五分予定》

山中 迂晶  
山崎 正道

殿田 謙吉  
飯田 清一  
柿原 孝則  
松田 弘之

間山本 則孝

後見 松山 隆之  
赤瀬 雅則  
地謡 梅若 英寿  
山崎 友正 鷹尾 章弘  
小田切亮磨 梅若 紀彰  
内藤 幸雄 梅若 隆雪

能

# 松風

見留



<JR線>  
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

<地下鉄>  
・大江戸線 東中野駅 A3出口  
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口  
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口  
いずれも徒歩8分

<バス>  
①関東バス(宿05:中野駅経由)  
新宿西口→野方行 宮下交差点下車  
②関東バス(宿05:中野駅経由)  
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車  
③京王バス(洪64:中野坂上経由)  
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車  
④京王バス(洪64:中野坂上経由)  
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

\*当会館は駐車場はございません。  
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野2-6-14  
(公財) 梅若会  
(梅若能楽学院会館)  
TEL: 03-3363-7748  
FAX: 03-3363-7749

『竹生島』醍醐天皇に仕える大臣が、琵琶湖に浮かぶ竹生島に詣る為には釣舟に便船を頼む。釣舟で漁翁と若い女と共に島に渡り、神前に着くが女人禁制と聞いていた大臣が不審に思っていると、漁翁は島に祭る大弁財功德天は天女だから女性こそ参詣するべきだと語る。すると女は社壇の中へ、漁翁は湖へと姿を消す。やがて社殿が鳴動し、光り輝く姿の弁財天が現れ美しい舞を舞い、湖の波間から現れた龍神は金銀珠玉を大臣に捧げ、国土を鎮める力を示す。そしてまた天女は社殿に、龍神は湖の龍宮へと去っていく。

『松風』西国に下る旅僧が須磨の浦で一本の松について浦人から海女の松風・村雨の旧跡だと教わる。僧は松に念仏供養をした後、近くの塩屋を訪ね二人の海女に宿を求める。僧が在原行平の話をする二人の海人は涙をおさえ自分達が松風・村雨の亡霊だと打ち明ける。二人は行平が須磨に三年間の配流の間に寵愛を受けたがやがて行平は都に帰り亡くなったが、自分達も死んだ今でさえ行平の形見を手にとると涙がこぼれ、松の立木さえ行平の姿に見えると語る。二人に引いを頼まれた僧は夜明けの浜に吹く松風に夢から醒める。

## 【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・賛助会員券 48,000円(8枚綴り券)・正面指定料別途1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)

- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容

当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。

## ◆観能に際してのお願い

入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願い致します。また、お客様ご自身による健康管理をよろしくごお願い申し上げます。

※個人情報は チケット裏面にご記入頂きます。

